

予 算 要 求 資 料

令和 2 年度 9 月 補正予算 支出科目 款：教育費 項：特別支援教育費 目：学校建設費

事業名 新 熱交換型換気扇設置事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会事務局 教育財務課 施設係 電話番号：058-272-1111 (内 3560)

E-mail: c17773@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 55,900 千円 (現計予算額: 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担 金 負担 金	使用 料 手 数 料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	55,900	0	0	0	0	0	0	50,000	5,900
決 定 額	55,900	0	0	0	0	0	0	50,000	5,900

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・ 県立特別支援学校において、感染拡大のリスクを最小限にするため、教室内の感染症対策をより一層強化する必要がある。
- ・ 新型コロナウイルスの感染拡大の懸念がある中、教室内の換気対策を引き続き実施していく必要があると思われるが、秋から冬にかけて窓を開けサーキュレーターを使用する換気対策は、一気に教室が冷え込み、とりわけ病弱な児童生徒の健康管理に支障を来すことから、窓を閉め切った状態で教室内の温度変化を抑制しつつ、換気対策を徹底していく必要がある。

(2) 事業内容

県立特別支援学校において、体温の調節が難しい児童生徒が在籍している学校で、吸排機能を有する換気設備が整っていない普通教室(86教室)

に1台ずつ熱交換型換気扇（※）を設置。これにより教室内において以下のような効果が期待できる。

ア 外気温の影響を受けないため、室温を大きく変化させることなく、空気環境を整えることができる。

イ 換気で逃げてしまう熱エネルギーのうち、60～70%を回収し再利用することから、空調設備の負荷を軽減できる。

ウ 外気からの有害物質をフィルターでシャットアウトできるので、室内の空気がクリーンに保たれる。

エ 窓を開けずに済むため教室内への害虫の侵入を防げる。

※熱交換型換気扇とは・・・

空気を直接交換する一般的な換気扇とは異なり、外気と内気の熱交換を行うことで室内の温度変化を抑制しつつ、換気を行うことができる換気設備。

（3）県負担・補助率の考え方

県 10/10

（4）類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
工事請負費	55,900	650千円×86教室＝55,900円
合計	55,900	

決定額の考え方

4 参考事項

- （1）新型コロナウイルス感染症に係る緊急要望として、自民党岐阜県連及び県政自民クラブより県立学校への設置の検討を求められたもの。
- （2）県内において、既に中津川市の小学校で熱交換型換気扇が導入されており、教室内の温度やCO₂濃度、空調設備料金につき、抑制効果が出ている旨、公表されている。
- （3）愛知県、三重県の県立学校において導入されている実績はない。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・特別支援学校において、普通教室の換気対策に取り組むため熱交換型換気扇を調達することにより、学校再開後の児童生徒の新型コロナウイルス感染予防を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目 標	達成率
						%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(R)	%

○指標を設定することができない場合の理由

新型コロナウイルス感染症の対策として実施するものであり、指標の設定になじまない。

（前年度の取組）

無

（前年度の成果）

無

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	感染を予防するうえで必要性が高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	学校長の判断において迅速かつ柔軟な対応が出来るよう効率化を図る。

(今後の課題)

感染対策をしながらの効率的な学校運営

(次年度の方向性)

新型コロナウイルス感染症に係る状況の変化を踏まえ検討

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	【○○課】